

沿革 秋田県横手市と本荘市とを結んで当地方を開発するため、大正4年鉄道敷設の免許を得、同5・10 資本金300万円の横荘鉄道株式会社として発足、昭和18・4 政府の勸奨により雄勝鉄道株式会社を吸収合併し、羽後鉄道株式会社と社名を変更、さらに昭和27・2 現在の社名に改めた。

2 地方鉄道線

開業線 秋田県下の奥羽本線横手駅および湯沢駅に連絡する横荘線、雄勝線の2線で、延長37.8kmの旅客および貨物運輸の鉄道である。横荘線横手・二井山間26.1kmは単線、動力は蒸気および内燃、軌間は1.067mで大正4・1・13 免許、同7・8・18 横手・沼館間の運輸を開始し、その後二井山まで逐次延長して昭和3・11・1 全通した。雄勝線湯沢・埴間11.7kmは単線、動力は電気、軌間は1.067mで湯沢・西馬音内間を大正13・8・16 免許を受け、昭和3・8・10 運輸開始、その後同9・12・11 埴まで延長免許を受け、同10・2・13 開業した。

3 沿線の観光地

大森公園(羽後大森駅)、浅舞公園(浅舞駅)。

4 運輸概況

項 目	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	1,408	1,450	1,460
人 キ ロ (千)	11,687	12,028	11,710
貨物輸送トン数(千t)	64	64	70
ト ン キ ロ (千)	822	795	908
旅客収入(〃)	40,041	42,909	41,974
貨物収入(〃)	15,114	15,185	16,221
運輸雑収(〃)	14,758	1,281	1,195
収入合計(〃)	69,913	59,375	59,390
営業費(〃)	87,954	65,609	67,116
営業利益(〃)	△ 18,041	△ 6,234	△ 7,726
営業係数(%)	125	110	109

(志村幹雄)

うじなせん 宇品線 山陽本線広島駅から宇品港にある宇品駅に至る5.9kmの線。山陽線に属し線路等級は乙線である。

明治30・5 広島と宇品を結ぶ鉄道として山陽鉄道株式会社が建設したが、明治39年鉄道国有法によって国鉄に移管宇品線と呼ぶこととなった。その後一時芸備鉄道株式会社へ貸渡し同社に営業させたが、ふたたびこれを返還させ国鉄線としての営業を開始したものである。(森 梯寿)

うすのうらせん 臼ノ浦線 松浦線佐々駅から臼ノ浦に至る2.8kmの線、長崎線に属する丙線。臼ノ浦港積出となる石炭輸送を主たる目的とする線である。

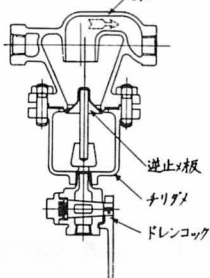
昭和6・8 佐世保鉄道株式会社によって開通したが、昭和11・10 政府に買収され、臼ノ浦線と呼ぶこととなったものである。

(森 梯寿)

うず巻ちり取

うずまきちりとり うず巻ちり取

(英) centrifugal dirtcollector 空気ブレーキ装置の配管中を空気とともに通過する異物や水分などを、配管の途中で空気の流れに対してちりこしの場合のような直接の抵抗を与えることなく、遠心力を利用してこれを取去るようにしたちり取。通過中の空気とうず巻状の運動を与えるため1巻きしたう回路をもつ体、ちりだめおよび逆止め板を主要部とする。



ちりだめにはドレンコックを設け、いつでも水抜きができるようにしたものがあり、国鉄ではドレンコックを下向きにつけるものを甲種、車両限界その他の空間的制約上ドレンコックを横向きにつけるものを丙種、ドレンコックをつけないものを乙種と呼んでおり、そのおのおのに管径1"および $\frac{3}{4}$ "用のものがある。(高桑五六)

うたしなせん 歌志内線 函館本線砂川駅から歌志内に至る14.5kmの函館線に属する簡易線。

この線は明治24・7 北海道炭鉄鉱道会社線として開通、明治39・3 鉄道国有法の公布により国鉄に移管、石炭の輸送をその使命としている。(森 梯寿)

うちきりしゃんこう 打切竣工 工事施行途中において一部計画変更、材料入手遅延その他により頭初計画の一部を中止する場合、既成部分を精算して竣工整理すること。すなわち国鉄の請負工事にあつては契約書第17条により契約を一部解除する。この場合、契約解除に当つては有償と無償の場合が起り得る。直轄工事にあつては賃請に出した工事が対象となり、その施行手続を定めこれを処理している。(富田善明)

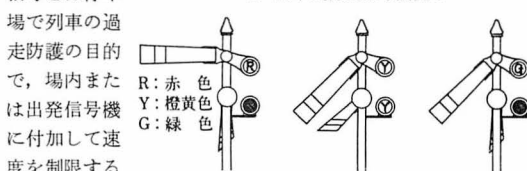
うちこせん 内子線 予讃本線五郎駅から内子駅に至る10.3kmの線。予讃線に属し線路等級は簡易線である。

大正9・5 五郎・内子間が愛媛鉄道株式会社の手によって開通したが、昭和8・10 政府に買収され内子線と呼ぶこととなった。

(森 梯寿)

うでぎしきけいかいしんこうき 腕木式警戒信号機 警戒信号とは停車

1. 腕木式警戒信号機現示



2. 腕木式警戒信号機機構

